

特殊詐欺の発生状況（平成28年中） ～認知件数・被害総額ともに前年より大幅に減少！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成28年中）

- 被害認知件数は**96件**（前年比-54件）
- 被害総額は約**1億3,200万円**（前年比-約3億2,000万円）
- 被害者の約**73%**が65歳以上の高齢者

2 平成28年中に相次いだ被害

① 架空請求詐欺



- ・認知件数は34件（前年比-30件）
- ・被害総額は約9,000万円（前年比-約1億7,000万円）
- ・コンビニで電子マネーを購入し、カードの番号を教えるよう指示される手口が増加

② 還付金（払戻金）詐欺



- ・認知件数は33件（前年比-3件）
- ・被害総額は約2,300万円（前年比-約500万円）
- ・被害者の約97%が70代、80代の高齢者

③ オレオレ詐欺



- ・認知件数は22件（前年比-2件）
- ・被害総額は約1,400万円（前年比-約7,400万円）
- ・被害者の約91%が65歳以上の高齢者

※上記①②③で平成28年中の特殊詐欺認知件数の約93%。

3 被害者の年齢・性別構成

	平成28年中		
	男性	女性	計
～ 19	1	-	1
20 ～ 29	-	4	4
30 ～ 39	-	2	2
40 ～ 49	3	4	7
50 ～ 59	5	3	8
60 ～ 69	5	7	12
70 ～ 79	4	34	38
80 ～ 89	6	18	24
90 ～	-	-	-
合計	24	72	96

4 特殊詐欺全体の被害金交付形態

	平成28年中 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	57
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	6
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	23
キャッシュカード受取型	10
合計	96